

Vol.119

院長 関の

Face to Face

2018年 5月 1日発行



皆さんが普段「背骨」と呼んでいる背中の骨は、頭から腰までつながる24個の椎骨によって構成されています。首の骨を頸椎、胸の骨を胸椎、腰の骨を腰椎といい、頸椎と腰椎は前に(前湾)、胸椎は後ろに(後湾)カーブしていてこれを生理的湾曲といいます。背骨の大切な役割は「体を支える」「体を動かす」「神経の保護」の3つです。今日はこの「神経の保護」についてお話したい

脊柱管狭窄症って何？！



と思います。椎骨には穴があり、穴が連なってできた管のような空間のことを「脊柱管」といいます。この管の中には脊髄神経が通っていて、椎骨はこの神経の束を守る役割があります。しかし、この脊柱管は加齢とともに狭くなる宿命を持っています。加齢以外の主な原因としては・ヘルニア・すべり症・分離症・脊柱の変形・靭帯肥

厚など。狭くなると中を通る神経が圧迫され痛みやしびれや運動障害が起こります。ひどい場合は全身に起こります。この病態を総称して「脊柱管狭窄症」といいます。狭窄症は腰だけでなく首や胸にも起こります。当院でもこの病態で悩んでいる方や予備軍に含まれる方が多くいらっしゃいます。生活習慣や運動、姿勢など予防するための知識は様々あります、次回は予防と治療についてお話したいと思います。

関 修一(せきしゅういち)

健育会 東銀座整骨院・整体院・

鍼灸院 院長

代替医療の総合治療院としての確立を目指す。タイトルの「face to face」患者さん自身と向き合って患者さんの症状と闘うことを願ってつけた

毎月一日の発行です